

令和4年度第1回萩市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和4年5月31日（火）14：00～

場 所：萩市役所2階 大会議室

1. 開会

【事務局】

時間になりましたので、ただいまから「令和4年度第1回萩市地域公共交通会議」を開催致します。

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠に有難うございます。

議事に入るまでの進行を担当させていただきます、事務局の萩市商工振興課の山本と申します。よろしくお願い致します。

本日は、令和4年度の第1回目の会議となります。

人事異動等で新たに委員となられた方もおられますが、時間の都合上、お手元にお配りしております資料の委員名簿・出席者名簿・配席図でご確認いただければと思います。

それでは、会議の開催にあたり、会議の成立要件を確認いたします。

本日は、委員26名のうち、代理出席も含め19名の委員に出席していただいておりますので、会議の成立要件を満たしていることを報告致します。

また、本日の会議は、設置要綱第4条第7項に「交通会議は、原則として公開とする」と規定されていることから、公開とさせていただきます。

なお、会議の開催結果につきましても、基本的に議事録などを市のホームページ等で公表することとしておりますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、本日の会議資料を確認させていただきます。

本日の会議資料は、次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、萩市地域公共交通会議設置要綱、それから、議事に係る資料として、資料1～資料3と現行のまあるバスのパンフレットを用意しております。

資料の不足がございましたら、会議の進行中もお伝えいただければ、用意致しますので、よろしくお願い致します。

それでは、開会にあたりまして、本会議の会長 萩市商工政策部 山本理事がご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

【会長】

本会議の会長をさせていただきます、萩市商工観光部の山本です。開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、ご多忙のところ、皆様方にはご出席いただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスにつきましても、最近では減少傾向が続いている状況ではありますが、今年のゴールデンウィークの観光客数を見ましても、昨年 R2 年との比較では、150%と大幅に増えていますが、コロナ前の令和元年度と比較すると、約 60%で、まだまだ回復していない状況であります。

まあるバスの利用者数につきましても同様にコロナ禍の令和 2 年との比較では、102%となっておりますが、コロナ前の令和元年との比較では、約 76%という状況となっております。公共交通の利用者の減少もなかなか戻らない状況が続いています。

そうした状況ではありますが、萩市といたしましては、高齢化が進む中で、市民の生活に欠かせない移動手段として、交通事業者の協力をいただきながら、利用しやすい交通ネットワークの構築を図るべく、さまざまな施策を推進しているところであります。

まあるバスにつきましても、市民の方や観光に訪れた方が利用しやすい運行ルートを目指して、これまで協議を重ね、実証運行も行いながら、今年度、新たなルートによる運行を予定しているところであります。

本日の交通会議では、令和元年 12 月に策定いたしました「萩市交通ネットワーク計画」に掲げている目標に向けた現状、令和 4 年度における取組について等、ご説明申し上げます。また、まあるバスの見直しにつきましても、新しい運行ルート、新設する停留所等につきましても、交通会議でのご承認をいただき、今後の事務を進めたいと存じています。

いずれにしましても、今、高齢化が進む中で、移動手段の確保、利便性の向上につきましても、大きな課題となっております。

それぞれ各方面から、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

はなはだ簡単ではございますが、本会議の開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

ありがとうございました。

それでは、ここからは山本会長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

【会長】

3. 議事

(1) 萩市交通ネットワーク計画に定める目標と現状について

【事務局】

資料1を説明。

【会長】

それでは、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願いいたします。

【高野副会長】

基本の③の住民主体の地域コミュニティ交通の導入支援団体数と運行実施主体数についてですが、令和3年度の実績で導入支援がなく、運行実施が1組織、そして令和4年度においては導入支援が1団体、運行実施が1組織となっています。令和6年度の目標値が導入支援10団体、運行実施が2組織といったところで、大きくジャンプアップしているの見えるのですが、実際に難しいところとか、地域でどういった反応があるのか教えていただきたい。

【事務局】

令和6年度の目標が、導入支援が10団体とし、今年度が1団体導入予定としており、目標値が達成できるかという質問だったと思います。まず目標を10団体にした経緯ですが、コロナ前の計画を作る段階では各地域で1~2ずつ進めていきたいということで約10団体の支援と考えておりました。計画時には、導入についての相談をされる地区の方がかなりいらっしゃいましたが、コロナによってなかなか動きにくくなったという事実があります。実際のところ事前の相談はありましたが支援までに至っていません。相談があった地域に関してはご説明にあがっておりますが、一步踏み切るところまでいかないのが実情でして、現在、実際に1団体取り組みをスタートされたところですので、その事例も含めてこれから周知を図って行って、皆さんも一緒にやりませんかという話を進めていくところです。

【大田委員】

4年度の推進事業計画で、自家用有償旅客運送の支援とありますが、この内容についてはどういう考えでいらっしゃいますか。

【事務局】

自家用有償旅客運送への取組支援は以前から取り組んでいましたが、実際に登録となると色々な手続きがあります、登録までの段階、なかなか有償運行までは至らないけれども、地区の方々、団体の方でやってみたいと、そういった方々が自分たちで実施できる体制を構築していくまでの支援をしていくということで考えています。

今回の導入支援をしているところにつきましては、そういった形で市が一部支援をしながら、本格的に自分たちで自家用有償旅客運送ができる地域を一緒になって作っていく形で進めていきたいと考えております。

【会長】

捕捉しますと、今ぐるっとバスは地域内循環で市がやっていますが、すべてを自宅から目的地までの交通体系を確保するというのは、車の台数や運行の体制もあるので、なかなか難しい。きめ細かい交通体系というところで幹線交通を担う交通事業者、それと地域住民が主体で運行する地域コミュニティ交通、そういった運行体制ができることで、より自宅から目的地までの移動者さんが確保できるという考えで進めておりますが、まず運行体制を作ることが難しいところがあります。

【大田委員】

むつみ地域では、月に二回4人買い物に連れていくというのがあるが、この事業に入っているのかどうかお聞きしたい。

【会長】

今の内容は、福祉サイドの移動支援ということで、元気支援隊の方でやられている移動確保ですが、それとは別に、地域住民の方を幅広く対象とした移動手段の確保として体制を作っていければ移動が便利になります。特に高齢者の方、交通弱者という方には移動が便利になり加えて、安全性や運行計画の持続性を考えると、例えば運転手が賃金をもらえるような有償運送の仕組みが必要だと思います。それに向けてまず運行体制を作ることが大切なので、その方向でも支援をしていくという考えで進めています。

色んな地区で相談があり、また、地区の会議で説明をし、色々と地域の方も検討されていたのですが、コロナで話が進んでない状況が続いています。すぐに運行体制を作るのは難しいと思いますが、よりきめ細かな運行体制を確保するにはこういった運行体制を今後作っていくことが必要だろうということで進めております。そのようにご理解いただきたいと思います。

【会長】

それでは、萩市交通ネットワーク計画で定める事業について、今後どのような方向で決めていくかという現状を踏まえた説明ということでご理解を頂きたいと思えます。

この議題につきましては、特に採決は行いませんが、また、ご意見がありましたら遠慮なしに商工振興課にお話しただけたらと思えます。

(2) 萩循環まあるバスの見直しルート及び本格運行について（案）について

【事務局】

資料を説明。

【会長】

それでは、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願ひいたします。

【斎田委員】

防長交通の斎田と申します。いつもありがとうございます。

名称変更の部分で東ルートの E-34 の「郡司鑄造所 遺構広場前」というバス停ですが、「松陰神社北」というのを前につけさせて頂いています。その趣旨は東萩で乗ってきたお客様が松陰神社に行きたいと言われたときに、東光寺を回ってからでもいいですが、お急ぎなら「松陰神社北・郡司鑄造所 遺構広場前」で降りていただいたら便利ですよとご案内できるようにお名前を付けさせて頂きました。これは運転手の方で上手くご案内できるかと思えますけど、案内する側としてのお願ひをして変更させて頂いた次第でございます。

【会長】

ただいま、今回バス停名称の変更点について、しっかりと趣旨をご説明いただきました。その他意見があればお願ひします。

【高野副会長】

東回りのバス停の名称変更で「サンパード前」が「新川南」に、今の「新川南」が「新川交差点前」に変わるということで、利用される方が少し混乱されるのが心配されますが、地元の方などの了解は得ておられるのでしょうか。

【事務局】

地元の方に事前にお話しすることはしておりませんが、今日決定をさせていただきましたら、そのあたりを含めて周知をさせていただきたいと考えております。

「サンバード」のバス停名称の変更につきましては、お店がなくなって、名前を使い続けるのはというのがあり、また地区名も「新川南」と重複してしまうことから、この度このような形で考えております。

【藤田】

西回りの34と東回りの9番における「萩駅・観光協会前」についてですが、観光協会の移転の話もありますが、どうなりますか。

【事務局】

萩駅がございますので、停留所自体は残そうと思います。移転時期によっては観光協会の名称が残ってしまうかもしれませんが、そこについてはまた相談させていただきます。ありがとうございました。

【会長】

観光協会の件についてはまた今後相談させていただくということで、宜しく願います。

この度のルートの見直のポイントにつきましては、前回の交通会議でしっかり了承を頂いております。それに伴う最終的なルート、時刻運行ということでご理解をいただきたいと思います。今後の事業の進め方といたしまして、交通会議でのご承認が必要となります。本日お示しをいたしました、運行ルート、運行ダイヤ、それからスケジュール等につきましては、ご承認いただける方は挙手をお願い致します。

－ 全員挙手につき承認 －

ありがとうございました。

本日議題といたしました、まあるバスの運行ルートにつきましては、ご承認をいただきました。今後、先ほどご説明をいただきましたスケジュールで、公安、道路管理者の許可申請、交通事業者さんにおいて、運輸局に届け出、申請事務を行わせていただくということでご理解を頂きたいと思います。

本日の議事はこれで終了となります。

その他、委員の皆様からの報告や事務局から連絡がありましたら、お願いします。

特になし

その他の報告等が無いようですので、終了とさせていただきます。

委員の皆様には、議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

進行を事務局へお返しします。

【事務局】

委員の皆様には、長時間にわたってご議論をいただき、誠にありがとうございました。

なお、先程、ご協議いただきました、まあーるバスの本格運行を進めていくにあたりましては、運行内容の詳細について、各関係機関への協議等も必要になると思いますので、ご協力いただきますようお願い致します。

以上をもちまして、令和4年度第1回萩市地域公共交通会議を終了させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

以上